

インマヌエル中目黒キリスト教会

2013年1月13日 聖日礼拝

「けれどももの祈り～

御名を置くと仰せられた所に」

第二歴代誌

6章12節－21節

河村 従彦 師



聖書朗読

旧約聖書

第二歴代誌6章12節-21節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp678/ 第三版の聖書はp740～

- 12 彼はイスラエルの全集団の前で、主の祭壇の前に立ち、両手を差し伸べた。
- 13 ソロモンは、長さ五キュビト、幅五キュビト、高さ三キュビトの青銅の足台を作って、これを庭の中央に据えておいたが、その上に立って、イスラエルの全集団の前でひざまずき、両手を天に差し伸べて、
- 14 言った。「イスラエルの神、主。天にも地にも、あなたのような神はほかにありません。あなたは、心を尽くして御前に歩むあなたのしもべたちに対し、契約と愛とを守られる方です。

- 15 あなたは、約束されたことを、あなたのしもべ、私の父ダビデのために守られました。それゆえ、あなたは御口をもって語られました。また御手をもって、これを今日のように、成し遂げられました。
- 16 今、イスラエルの神、主よ。あなたのしもべ、私の父ダビデに約束して、『あなたがわたしの前に歩んだように、あなたの子孫がその道を守り、わたしの律法に歩みさえするなら、あなたには、イスラエルの王座に着く者が、わたしの前から、絶えることはない』と仰せられたことを、ダビデのために守ってください。

- 17 今、イスラエルの神、主よ。あなたのしもべダビデに約束されたみことばが堅く立てられますように。
- 18 それにしても、神ははたして人間とともに地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして、私の建てたこの宮など、なおさらのことです。
- 19 けれども、あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、主よ。あなたのしもべが御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。

20 そして、この宮、すなわち、あなたが御名をそこに置くと仰せられたこの所に、昼も夜も御目を開いていてくださって、あなたのしもべがこの所に向かってささげる祈りを聞いてください。

21 あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この所に向かってささげる願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたのお住まいになる所、天からこれを聞いてください。聞いて、お赦してください。

説教

「けれどももの祈り～ 御名を置くと仰せられた所に」

第二歴代誌

6章12節-21節

河村従彦師



I 背景 ～神殿の奉獻式

A 文脈の確認 ～神殿の奉獻式 5:～7:

1 6:1～11 式辞

2 6:12～42 祈り

6:18 人間がなしとげたことは神さまの
前には小さい

6:22以下 さまざまなとりなし

6:22 のろいの誓い

6:24 敵に打ち負かされたとき

6:26 雨が降らないとき

6:28 ききん、疫病のとき

6:32 外国人のためにも

6:34 民が戦いにでるとき

6:36 捕虜になったとき

6:40～42 神さまによって油注がれた者を
顧みてください

B 状況

- 1 神殿を建築したあとの奉獻式
- 2 お祈りが中心 20節

II 前提 ～神殿建築のいきさつ

第1歴代17:1～8

A ダビデ

- 1 主の家を造らなければという思い
- 2 預言者ナタンのことば
出エジプト以来、神さまは家には住んだ
ことはない

B 信仰のあり方への問いかけ

日曜日もウィークデーも

★聖書の既定路線

～見える形にしないように

神さまのために家を作ります

→ それはあなたがすることではない

王国をください → 自分が直接治めれば
よいのではないか

十戒 ～わたしを決して見える形にはするな

C ソロモンの心の揺らぎ 18節

1 神さまの大きさ、すばらしさを述べている

18節

2 神殿を建てたことの意味を再考している

10節

本来神さまが望んでおられた方向に行ったの
だろうか

D ソロモンの心の転換 19節

1 祈りの場としての新しい意味づけ

2 「けれども」の祈り

III 見えないところへの目線

～祈りの場としての群れ

A 教会に集う ～祈りと安息の場

見えないところに目を向ける信仰

B 奉仕 ～恵みや励ましを受けることが

できる恵みの管

神さまの恵み

～見えるところで裁かれない

C わたしたちの生き方が証しになっている

1 現場が奉仕の舞台

2 新約のインマヌエルの意味 ～現場主義

3 新約のクリスチャンのあり方

(1) 語ること 生きること

(2) 行動 存在

(3) 差別化 同化

★「見えないところの」差別化

IV 神さまのあわれみに賭ける

～ダイナミックな神さまの国

A 人間の現実 ～人間は失敗するもの
理想では行かないもの

B ダイナミックな神さまの世界
～神さまが人間の祈りに
答えられる

C 神さまに対してねばるモーセ

1 使命に生きることを辞退

2 モーセの人生観

～神さまには必死に食い下がる

3 人間の側が変節したとき

～金の子牛礼拝

32:11～12「思い直してください」

32:14 神さまは思い直された

D ソロモンの祈り

1 けれどももの祈り

もう一度やり直しができる

～私たちの人生、私たちの新年

2 ダビデによって祈った祈り 42節

ダビデの子イエス・キリストの御名に
よって祈る祈り